

総得点

33 / 50

二

1
6 / 7

問一

わたしは 貴い役職 に就いている人間なので、
そのような 仕事 は適していない、ということ。

→ 役の言い換えはできているので、
《低級な仕事》であると伝わる
ように工夫しよう。①

2
9 / 18

問二

3/4

2
△

この私が どんな人物 なのかをお話したい。

→ 人柄なども含むような表現に
なっている。《身分》とより具体
化できるとさらによい。②

→ 承るは聞きの謙譲語なので、
《お聞きしたい》と訳出しよう。②

5/5

3
○

特別な事情は ございません。

1/6

4
△

《篤言がいつもの格好で練り歩いていく。

→ 「異様」であるのは
《金恒という隨身》③

→ 「異様」は《普通とは違っている様子》。
変な姿・風変わりとの意で訳出する。③

→ 「ける」は過去の助動詞なので、
《練り歩いた》と訳出する。①

→ 傍線部は文中にあるので、句点は不要。①



3
5/7

問三

(i)

格別にすぐれた様子だと、人々に言われたこと

「わりなき者」として、
武正を押えよう。⑦

文脈に合わせて、「ほめた」という内容に
するとさらによい。⑧

説明問題なので文末に
句点が必要。⑦

4
7/8

(ii)

忠恒という随身が立派な武生とは似ていなかったこと。

「正」が正しい。
誤字。⑦

ここは「正反対」である点を
明確にした方がよい。⑧

5
6/10

問四

身分の高い人も驚かせ慌てさすう大胆で、威勢のいい人物。

二つのエピソードに共通する事柄として、
「弁舌」相手を「やり込」めている点も
押さえよう。④

〈必修テーマの確認〉

「荒れが寝の言葉である」というこの設問で一番大切な点を理解できている。
あとはどこを変えればよりよくなるのか、添削答案を見ながら復習しよう。